

令和5年4月1日

令和5年度 学校経営方針

＝何としても学力・体力・思いやり・感性を豊かに磨き高め、より一層21世紀型の学校を作ります＝

墨田区立本所中学校

校長 松井 隆

I 本校の教育目標と校訓

教育目標 『心豊かな、たくましい本中生を育成すること』 《心豊かに たくましく》
校訓 『学びあう』

豊かな感性と思いやりの心を培う文武両道の学力向上校をめざします。本校は、人間尊重の精神と社会貢献の精神を基調として、知徳体の志ある人間教育を眼目に、品格ある学校、静かな学校、きれいな学校、そして、今までできなかったことができるようになる学校を具現化します。そこで、持続可能な知識基盤社会において活躍し幸福な百年人生を実現するとともに、心豊かな人間性とたくましく生き抜く力をもった本中生を育成していきます。そのためには、次の3つの言葉を要とします。

改革；自己改革の情熱と、向上し挑戦する心

真理；真実を学ぶ心と、誠実な心

和合；和みのある豊かな感性と、思いやりの心

さらに、校訓は、「学びあう」です。これからの百年人生で生涯学習の時代において、「学びあう」ことは、生徒の可能性を開花するとともに、どんな困難をも克服して明るい社会と幸福な人生につながります。

〈家庭・地域の願い〉

生徒は学校・家庭・地域の宝であり、学校・家庭・地域は生徒の心の故郷になります。このことを踏まえ、家庭や地域の願いとして、本中生が、これからの先行き不透明で急速に変化する時代に、百年人生の生涯学習社会、かつ、持続可能な共生社会の中を知徳体の志をもって人生の土台を築くため、学校教育に、たくましく生き抜く力の育成が求められています。すなわち、本中生が郷土を愛し社会を明るくし、人情味溢れ、生き甲斐をもった、豊かな人間に育つよう期待しています。

1 目指す生徒像 【知、徳、体の調和のとれた豊かな人間性を持つ生徒】

(1) 礼節を重んじ、学びあう心を培い、真剣に学ぶ本中生

- ① 授業を大切にし、授業に真剣に取り組む生徒
- ② 様々なことに興味や関心を示す生徒
- ③ 共に学ぶ姿勢のある生徒
- ④ 自ら目標を設定し、よく考え、意欲的に学ぶ生徒、すなわち、百錬自得の生徒
- ⑤ 素直な心、感動する心等、品格と豊かな感性を持つ生徒

(2) 他を思いやる、優しい本中生

- ① 自他ともに大切にする心を持ち、自他の生命を尊重する生徒

- ② 感謝の心、奉仕の心、思いやりの心を大切にし、実践できる生徒
 - ③ 生徒会活動、委員会活動、係活動、当番活動、部活動等を主体的に責任をもって行う生徒
 - ④ 学校行事や体験活動等を通じて、集団や他人と適切に関わる力、コミュニケーション能力を身に付けた生徒
 - ⑤ 時間、服装、身だしなみ、挨拶、時と場と状況に応じた適切な言動等、基本的な生活習慣を身に付けた生徒
 - ⑥ 暴力否定等の規範意識を持ち、学校生活・社会生活のきまり・マナーの意義等の社会性を理解して実践する生徒
- (3) 心身を鍛え健やかな本中生
- ① 健やかで丈夫な体づくりに励む生徒
 - ② 困難に挫けない、チャレンジ精神のある生徒、すなわち、不撓不屈の生徒
 - ③ 適切な内容と方法において、「努力・根性・ど根性」を発揮し、今までできなかったことができるようになった自己有用感を満面の笑顔で友と喜び合える、明るく元気な生徒

2 目指す学校像 【品格と活力漲る、明るい（素直、元気、楽しい）文武両道の名門校】

- (1) よく学習し、学校行事、生徒会委員会活動、部活動等の教育活動が適正で活発な学校
- ① 生徒が安心して学習し、落ち着いて生活する、そして、明るく元気に活動できる学校
 - ② 生徒が目標をもち、自己の能力と創造性の伸長に努めるとともに、毎日、明るく元気に登校できる学校
 - ③ 教職員が仕事に意欲を持ち情熱を注ぎ、高圧的な指導体制ではなく、人権尊重の指導体制をより深めるとともに、生徒の心に寄り添う指導体制を実現し、適正、かつ、活発な教育活動を展開する学校
- (2) 感動する、魅力ある授業の学校
- ① 確かな学力と健康な体力を育成するため、常に充実した授業を実践する学校
 - ② 学習を通じて感動体験に繋がる、創意工夫に満ち溢れた教育活動を展開する学校
 - ③ 教材教具、指導法の改善工夫により、分かりやすい授業、感動を喚起する授業を実践する学校
 - ④ 生徒の夢や希望と志、可能性を伸ばす学校
 - ⑤ 生徒や保護者が、本校を選択して良かったと思える学校
 - ⑥ 教育環境が充実し、清潔さを感じる学校
- (3) 生徒と生徒、生徒と教職員、学校と家庭・地域の間に深い信頼と安心の絆がある学校
- ① 体罰や暴言の根絶とともに、いじめや不登校等のない学校
 - ② 保護者が安心して通わせることができる学校
 - ③ 地域、保護者から信頼と協力が得られる学校
 - ④ 家庭、地域の教育力を生かす学校
 - ⑤ 教職員が生徒一人一人を温かく見つめ、楽しく分かりやすい授業に生徒が目を輝かす学校
 - ⑥ 秩序と潤いがあり、生徒相互が良き仲間として支え合い、競い合い、励まし合って健やかに、そして、豊かに成長ができる学校

3 目指す教師像 【ともに学ぶ教師、生徒とともに、互いの教師とともに、家庭・地域とともに】

《師弟同行の実践教師を目指します》

- (1) 使命感と情熱をもち、すべての生徒を伸ばし、生徒の豊かな成長のために惜しみない教育活動を展開する教師
- (2) 学ばざる教師、教えるべからず（コーチングするべからず）を教訓として、自ら指導力を高め、常に相

互に研鑽を積む教師

(3) 協働して、全教職員による組織的な指導体制を構築することができる教師

(4) 目指す教師像の要素

① 教育に対する熱意と使命感を持つ教師；

生徒に対する深い愛情、教育者としての責任感と誇り、高い倫理観と社会的常識

② 豊かな人間性と思いやりのある教師；

温かい心、柔軟な発想や思考、幅広いコミュニケーション能力

③ 生徒の良さや可能性を引き出し伸ばすことができる教師；

一人一人の良さや可能性を見抜く力、教科等に関する高い指導力、自己研鑽に励む力

④ 組織人としての責任感、協調性を有し、互いに高め合う教師；

より高い目標にチャレンジする意欲、若手教員を育てる力、経営参加への意欲

Ⅱ 経営方針 【教育目標の具現化を眼目に、次の方針の下、全教職員が全力で取り組みます】

(1) 主体的・対話的で深い学びの授業を実現してGIGAスクール構想を推進していきます。

(2) 苦楽を共にし、豊かな生徒の成長を自他ともに大きな喜びとする、明るい学校組織を実践します。

《辛くても楽しい山登り》

(3) 問題を一人で抱え込まない、共に助け合える、「ヘルプミー」が出来る、協働できる学校組織を実践します。

(4) 油断大敵を心構えとする学校組織【危機対応の「さしすせそ」】を実践します。

(5) 常に創意工夫する学校組織（指導教諭を研修の講師に招聘する等、研修の工夫）を実践します。

(6) 大胆かつ細心に、円滑できめ細やかな、適切なコミュニケーションのある学校組織を実践します。

《しんの強いほうれんそう》

(7) 学校のチームワーク、学年・教科部会・分掌のチームワークが大切です。チームワークの基本は声かけです。互いに声をかけ合っていきましょう。そして、教育活動において、生徒に成功体験を積み、自己有用感を体感させていきましょう。

(8) 適正な文書管理等、的確な実務ワークを徹底する学校組織を作ります。（このことが服務事故防止に繋がります）

(9) やはり、共通の要の言葉は、「①心に寄り添い、誰一人取り残さない、②何としても、学力・体力・思いやり、そして、豊かな感性を磨き高める。③授業で感動させる。④人権尊重の指導体制を深める。」です。生徒の笑顔が満ち溢れる学校にしていきたいと思います。

(10) いじめ不登校対策をきめ細やかに実践する学校組織にしましょう。心配な生徒には、問題行動が出る前に適宜声かけ、傾聴、認め励ますことが大切です。このことが問題行動の未然防止、実際に起きてしまったからの迅速で効果的な対応に繋がります。

1 【確かな学力の向上と定着、健康の維持増進と体力の向上、思いやりの心の涵養、豊かな感性の錬磨を目指した、学習指導・生活指導・進路指導の工夫、そして、GIGA 構想を充実実現して主体的・対話的で深い学びを実現するための常なる授業改善】

授業において真の学力の向上と定着を具現化します。基礎的・基本的な知識及び技能の習得を確実にすることから始め、探究的な学習や体験活動を充実して、今までできなかったことができるようになる授業を実践し、落ち着いた学校生活のもと、生徒自らが主体的に学び、自己実現の土台を作る指導体制を確立します。

このことが、生徒にとってこれからの百年人生であり、生涯学習社会・共生社会を生き抜く資質能力の育

成に繋がります。

- (1) 全員がコーチング授業の研究授業を行い、互観授業を中心とした校内研修に組織的・意欲的に取り組むとともに、あらゆる研修の機会を活用して、GIGA スクール構想に基づいた個別最適な学びと協働的な学びを積極的に行います。

とくに、単に教え込み中心の20世紀型授業ではなく、コーチングを主体とした21世紀型の授業へと転換を進めます。生徒にとって今までできなかったことを何とでもできるようにさせるということ、全教職員が本気になって、第一の組織目標として共有します。更に、学習意欲や非認知能力（失敗しても挫けずに頑張る資質能力）を培うことにも留意し、自己肯定感や達成感を涵養します。誰一人取り残さないという方針の下、A層はA層なりに、また、B層はB層なりに、CDE層はCDE層なりに資質能力を伸ばしていくことを工夫します。本校はAB層が半分以上であり、C層よりもB層が多く、DE層が少ない傾向にあります。AB層を増加させ、D層をC層に、E層をD層にするような数値目標を立てて学力向上と定着を具現化していきましょう。

そのため、日常の授業を中心に、毎回、少なくとも1つは工夫を行うようにします。例えば、各教科等では、主体的・対話的で深い学びの授業実現、GIGAスクール構想に基づいたICT活用、演習と支援、コーチングの充実等、実践的な創意工夫を行うことです。確かな真の学力の定着・体力の向上、豊かな感性や思いやりの心等の醸成を図ります。また、そのための補完として、夏季休業中に補習教室等を行います。

- (2) 生徒理解と信頼関係をもとに、組織的な生活指導体制を充実するとともに、学校全体の教育計画、年間指導計画・評価計画、評価資料、通知表、各教科等の実践的な工夫改善等を行い、指導と評価の一体化をより充実します。
- (3) 授業時数の確保を図るとともに、数学や英語での少人数指導をはじめ、各教科等を中心に、個別学習やグループ別学習、繰り返し学習、学習内容の習熟の程度に応じた学習、生徒の興味関心等に応じた課題学習、補充的な学習や発展的な学習、問題解決的学習、調べ学習、実験・実習的な学習、等など、個に応じた指導方法や学習内容を充実させます。
- (4) 学校図書館機能の充実と読書活動等を推進します。
- (5) 自己実現・キャリア教育の充実を目指し、生き方学習を中心に、進学指導をはじめ、進路指導の一層の充実を図り自己実現の土台を培います。
- (6) 思いやりの心の育成を目指して道徳科の時間を確保し指導資料の整備充実を図るとともに、よりよく生きるための基盤となる道徳性を涵養するため、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育成します。
- (7) 6組の特別支援学級や特別支援教室等のハンディキャップを持つ生徒には、ノーマライゼーションの理念と知育・徳育・体育の視点から、自立支援を目指すとともに、社会生活に必要な学力の定着と生活習慣の確立、豊かな人間性などの醸成を図ります。とくに、ソーシャルスキルトレーニングの視点を重視し、社会的・生活的な自立を目指します。

2【基本的生活習慣の確立（あじみそ、こし）、防災教育の充実、人権尊重教育の推進】

生徒指導の充実と安心・安全を重視した健全育成の充実を図るとともに、他を思いやる心や生命を大切する心を培い、人間尊重の精神と社会貢献の精神の涵養を図ります。

- (1) 学校生活の秩序を保つことの意義を理解させ、問題行動の未然防止に努め、生徒の健全育成を図ります。
 - ① 挨拶の励行
 - ② 時間を守る
 - ③ 身だしなみを整える
 - ④ 正しい言葉使い
 - ⑤ 規則を守る
 - ⑥ 生徒会活動の充実
 - ⑦ 部活動の充実
 - ⑧ 学校行事等での感動体験
 - ⑨ 奉仕活動の励行

- ⑩ 職場体験学習の充実 ⑪ 幼保・小学校との交流活動 ⑫ 人権尊重の精神の啓発
- ⑬ 社会性の涵養 ⑭ 生命尊重の精神の育成 ⑮ いじめの未然予防・早期発見・早期対応・解決

- (2) 個に応じた支援が必要な生徒への組織的な対応と、不登校や欠席傾向のある生徒へ、教育相談的手法をもとに、主任養護教諭やスクールカウンセラーと連携して誠意ある対応を心がけます。また、適宜、関係諸機関との連携を行い、生徒指導に万全を期します。
- (3) 心身ともに健康な生活習慣と、きれいで安全な教育環境を作ります。
 - ① 「早寝早起き朝ご飯」を合言葉にして、食育と保健指導を中心に、健康管理をしっかりと行い、健康の維持・増進を図ります。とくに、熱中症の予防や食物アレルギーへの適切な対応を組織的に行います。
 - (ア) 生活作りの推進 (イ) 食育の推進 (ウ) 生徒の身体状況の把握
 - ② 校舎内外の環境美化や安全に努めることの意義を理解させ、実践させます。
 - (ア) 清掃活動の充実 (イ) 教室環境の整備（黒板・掲示物などの状況）
 - ③ 安全、防災教育の徹底、とくに、地域と連携した防災教育の推進を図ります。
 - (ア) 校内の安全点検 (イ) 充実した、計画的な安全指導・防災・避難訓練等の実施
 - (ウ) 交通事故の防止、その他の事故等の適切な予防・処置と誠意ある対応

3【信頼の絆はすべての土台】教育公務員として教育実践に励み、より信頼される学校を作ります。

- (1) 教育の専門職としてライフステージに応じた研修を行うとともに、研究授業や公開授業等で、お互いの指導方法を充実改善します。
- (2) 使命感や情熱をもち、サービスを厳守し、本年度も服務事故者をゼロとし、全力で職務を遂行します。学校予算の効果的な執行のため、備品等の管理の徹底と有効活用を図ります。
- (3) 人間尊重の精神と社会貢献の精神を基に信頼関係の上に一人一人の生徒に応じた指導を適切に行います。

4【質の高い学校チーム】全教職員が協働し、高いモチベーションをもち、個々の職員の個別目標と組織目標の一致を図りながら、高い組織的課題対応能力のある学校を作ります。

- (1) 校務分掌の各部・各系の業務を明確にし、一人一人が自己の役割と自己の責任を果たすとともに、主幹教諭・指導教諭・主任教諭を生かし、情報連携・行動連携・総合調整を図り、組織的な学校運営を行います。
- (2) 諸会議の運営では、事前に内容を明らかにし、効率的・能率的に行うとともに、学年や分掌の報告・連絡・相談を密にし、相互理解を図り、協力して共通実践を行います。とくに、校長の補助機関として主幹教諭や各主任層から構成される企画推進会議の企画調整機能をより強化し、更に、経営推進支援部を位置付け学校組織の牽引力にします。
- (3) 教員、事務主任、栄養士、スクールカウンセラー、学校管理員、学校施設管理員、給食民間委託業者等が深い信頼のもと、和を大切に助け合って明るい職場作りに努めます。

【和をもって貴しと成す。君子は和して同ぜず】

5【信頼と人情味溢れる地域の名門校】

学校公開を行い、教育活動や生徒の状況について積極的に知らせるとともに、保護者の要望等に誠意をもって対応し、家庭・地域社会との連携を推進します。

- (1) 学校・家庭・地域社会の教育の役割と責任について、相互理解を図るとともに、教育活動や生徒指導について、必要に応じて、適宜、保護者や関係諸機関との協力を求めます。
- (2) 学校経営の改善に資するため、学校関係者評価・学校評価をより充実させます。